

2019年度文部科学省委託事業「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
『多摩地域における建設産業中核的人材養成事業』
産学連携体制構築事業

第2回委員会

次 第

日時：2019年11月5日（火） 15：00～17：00

会場：日本工学院八王子専門学校 片柳研究所棟14階 AI実践センター

1. 議 事

(司会) 日本工学院八王子専門学校

小林 猛

- 1) 本事業の概要
- 2) 多摩地域建設人材育成協議会について
 - ・規約
 - ・具体的な活動概要
- 3) 実施報告
 - ・実証講座「マシヨソリアフォーミュラネジヤー資格試験対策講座」
 - ・国内視察「広島工業大学」

2. その他（今後の予定など連絡事項）

2019年度 文部科学省委託事業「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

多摩地域における建設産業中核的人材養成のための産学連携体制構築事業

第2回委員会

	日本工学院八王子専門学校 建築学科・建築設計科 主任 小林 猛	日本工学院八王子専門学校 副校長 山野 大星	日本工学院八王子専門学校 テクノロジーカレッジ長 清水 憲一	リノベイトダブリュ 渡邊 秀樹	
八王子商工会議所 三友建設(株) 外池 正明	<p>日時: 2019年 11月 5日(火) 15:00~17:00</p> <p>場所: 日本工学院八王子専門学校 片柳研究所棟14階 AI実践センター</p>			前八王子市長 黒須 隆一	
西多摩建設業協働組合 岩浪建設(株) 岩浪 岳史				八王子市役所 橋本 英章	
(株)田中建設 鈴木 浩之				明星大学 理工学部 総合理工学部 鈴木 博之	
黒須建設(株) 遠藤 雅章				町田・デザイン専門学校 建築ものづくり系 飯田 有登	
日本工学院八王子専門学校 建築学科・建築設計科 主任 真田 一穂				日本工学院八王子専門学校 建築学科・建築設計科 科長 上田 耕作	

三菱総合研究所
press

2019年度 文部科学省委託事業

「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

多摩地域における建設産業中核人材養成のための

産学連携体制構築事業

第2回委員会

2019年11月5日

2019年度 文部科学省委託事業「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
多摩地域における建設産業中核的人材養成のための産学連携体制構築事業

2019/11/5

第2回 委員会名簿

開催日時：2019年11月5日(火) 15時～17時

開催場所：日本工学院八王子専門学校 片柳研究所棟14階 AI実践センター

代表機関：日本工学院八王子専門学校

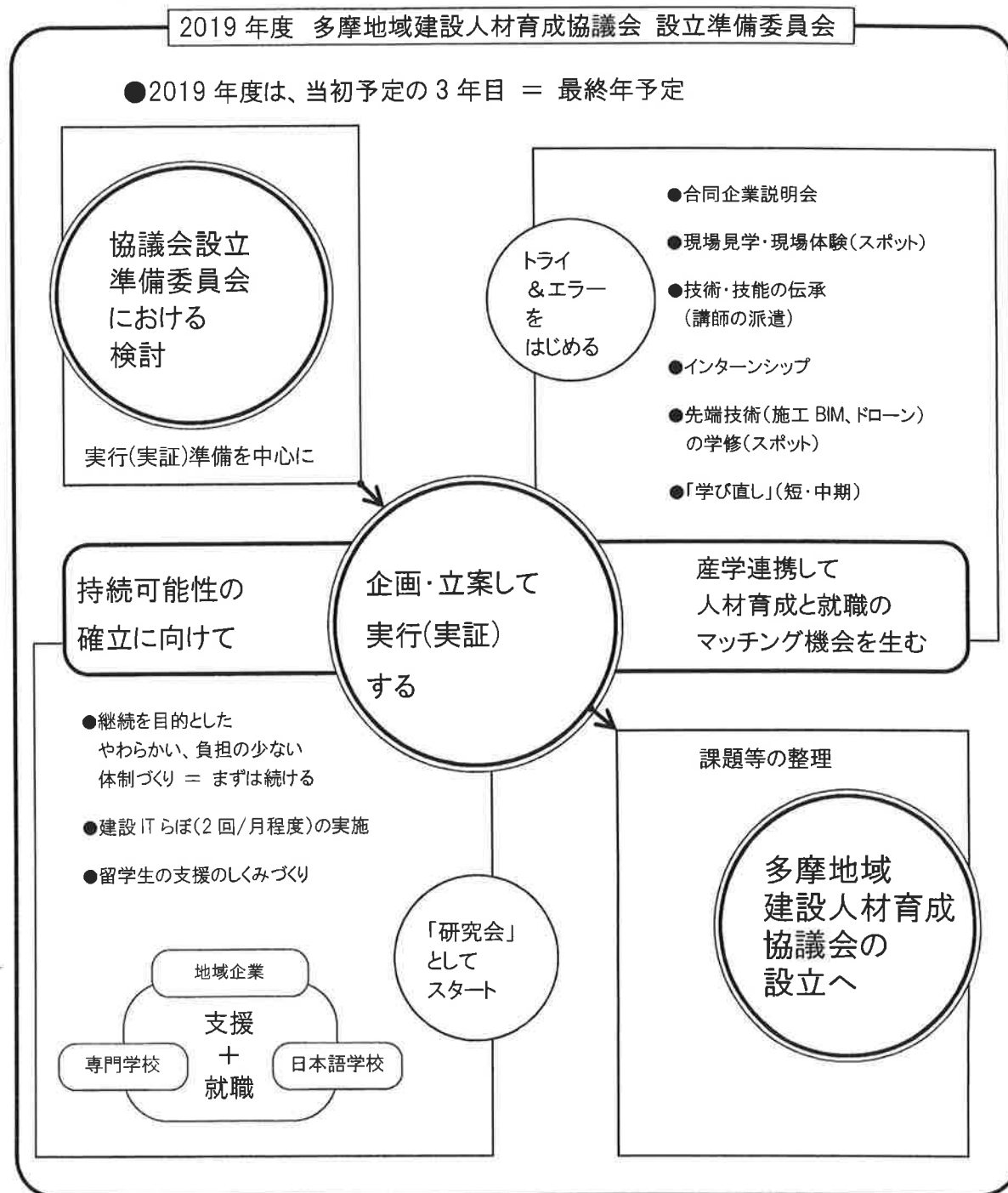
No.	企業名・学校名	氏名	部署	役職	備考
1	前八王子市長	黒須 隆一			
2	八王子市役所	橋本 英章	まちなみ整備部建築指導課	監察担当主査	
3	八王子商工会議所	外池 正明	建設部会		
4	一般社団法人南多摩建設業協会	朝倉 泰成	株式会社朝倉組 代表取締役社長		欠席
5	西多摩建設業協同組合	岩浪 岳史	岩波建設株式会社 代表取締役社長		
6	株式会社田中建設	鈴木 浩之		取締役 建築部長	
7	黒須建設株式会社	遠藤 政章		取締役 土木部長	
8	明星大学	鈴木 博之	理工学部 総合理工学部	特別教授	
9	工学院大学	田村 雅紀	建築学部 建築学科	教授	欠席
10	町田・デザイン専門学校	飯田 有登	建築ものづくり系 担当長	理事 教頭	
11	山梨県立甲府工業高等学校	手塚 幸樹		校長	欠席
12	日本工学院八王子専門学校	山野 大星		理事 副校長	
13		清水 憲一	テクノロジーカレッジ	カレッジ長	
14		上田 耕作	テクノロジーカレッジ 建築学科・建築設計科	科長	
15		真田 一穂	テクノロジーカレッジ 建築学科・建築設計科	主任	
16		小林 猛	テクノロジーカレッジ 建築学科・建築設計科	主任	
17		根本 毅	テクノロジーカレッジ 建築学科・建築設計科	教員	欠席

オブザーバー

No.	企業名・学校名	氏名	部署	役職	備考
	三菱総合研究所	山口 健太郎	科学・安全事業本部 産業イノベーション戦略事業部グループ		

●2019 年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

・次第	
・名簿	
・第1回委員会 発言のまとめ	1
・事業の構成+作業の組み立て	2
・2019 年度の展開 案	3
・多摩地域建設人材育成協議会の基本構成	4
・多摩地域建設人材育成協議会 規約(案)	5
・多摩地域建設人材育成協議会の活動概要	6
・実証講座 マンションリフォームマネジャー資格対策講座	7
・国内視察 広島工業大学	12
・スケジュール表	



—第一回委員会 概要—

日時:2019年9月9日(月) 15:00 ~ 17:00

場所:日本工学院八王子専門学校 厚生棟 2階 スチューデントスクエア

出席者名 12名(以下 敬称略、オブザーバーは含めない)

No.	企業名 / 学校名	氏名	部署	役職
1	前八王子市長	黒須 隆一		
2	八王子市役所	橋本 英章	まちなみ整備部建築指導課	主査
3	八王子商工会議所	外池 正明	三友建設株式会社	代表取締役
4	一般社団法人南多摩建設業協会	朝倉 泰成		
5	西多摩建設業協同組合	岩波 岳史		
6	株式会社田中建設	鈴木 浩之	建築部長	取締役
7	黒須建設株式会社	遠藤 政章	土木部	取締役
8		山野 大星		副校長
9		清水 憲一	テクノロジー・カレッジ*	カレッジ長
10	日本工学院八王子専門学校	上田 耕作	テクノロジー・カレッジ*	科長
11		真田 一穂	テクノロジー・カレッジ*	主任
12		小林 猛	テクノロジー・カレッジ*	主任・事務局

建設産業人材育成

●入社前後の意欲の変化

・入社前は意欲があるが、入社後意欲が低下する傾向にある。

(理由)

想像していた仕事・作業内容を行える訳ではない。「想像と違う」となるため。



入社後のキャリアアップの方法、年数など「入社1年目の働き方」を教える。

●プラットフォームとして

・地域活動のプラットフォームとしての活動

・現在各企業が行っていることもあるが、今後検討できることもある。

・「若手技術者育成の場」や「企業の社会的貢献度向上の機会」となれば良い。

・大企業にはない中小企業の魅力創出

●継続的な人材像の追及

・地域に根づく人材、自主的に動ける、働きがいを感じる人材

・ひとつづくりを中心に考え、地域の人にあった学習機会の創出

・先端技術等の学習、「守り手」育成

・地域課題発見と解決策を検討できる機会

●各団体との連携

・三多摩建設業連合会との連携は、協会内の企業に周知済み。

・インターンシップの成果発表などは、各企業間の情報共有の場となっている。

インターンシップ

●プログラムの内容

・プログラム期間の設定が難しい
対象の現場の規模等により、プログラム内容を決定する際に時期により差が生じ、定型化できない。

・参加する学生が自主的に選択できるような内容が望ましい。(社会人になった時の姿勢を学ぶため)

・現場で何を学ぶかを明確にする。

●プログラム担当者

・一番大変なのが、担当者の確保である。

・中小企業では他の業務との兼務となるため、テキストなど指南書があると良い。

・指導者は、
インターンシップ＝現場外職員
(人事担当者等)
コープ＝現場内職員(現場監督等)
のように異なる。

・学生に近い若手社員を配置する。

●日数等

・5日間は短いのか?
＝5日間はお客さん感覚となるが、職業を見学することはできる。

・現場の規模と合わせて日程を組むため、事前のスケジュール調整等は念入り。

コープ教育

●企業側の意見

・参加者には体験した企業へ就職して欲しい。

・インターンシップで見学したいいくつかの職種から選んで、コープ教育での職種を選べると理想的。

・長期間のコープ教育では、職業の「つらさ」が分かり、職業を変えてしまうデメリットがある。

●懸念事項

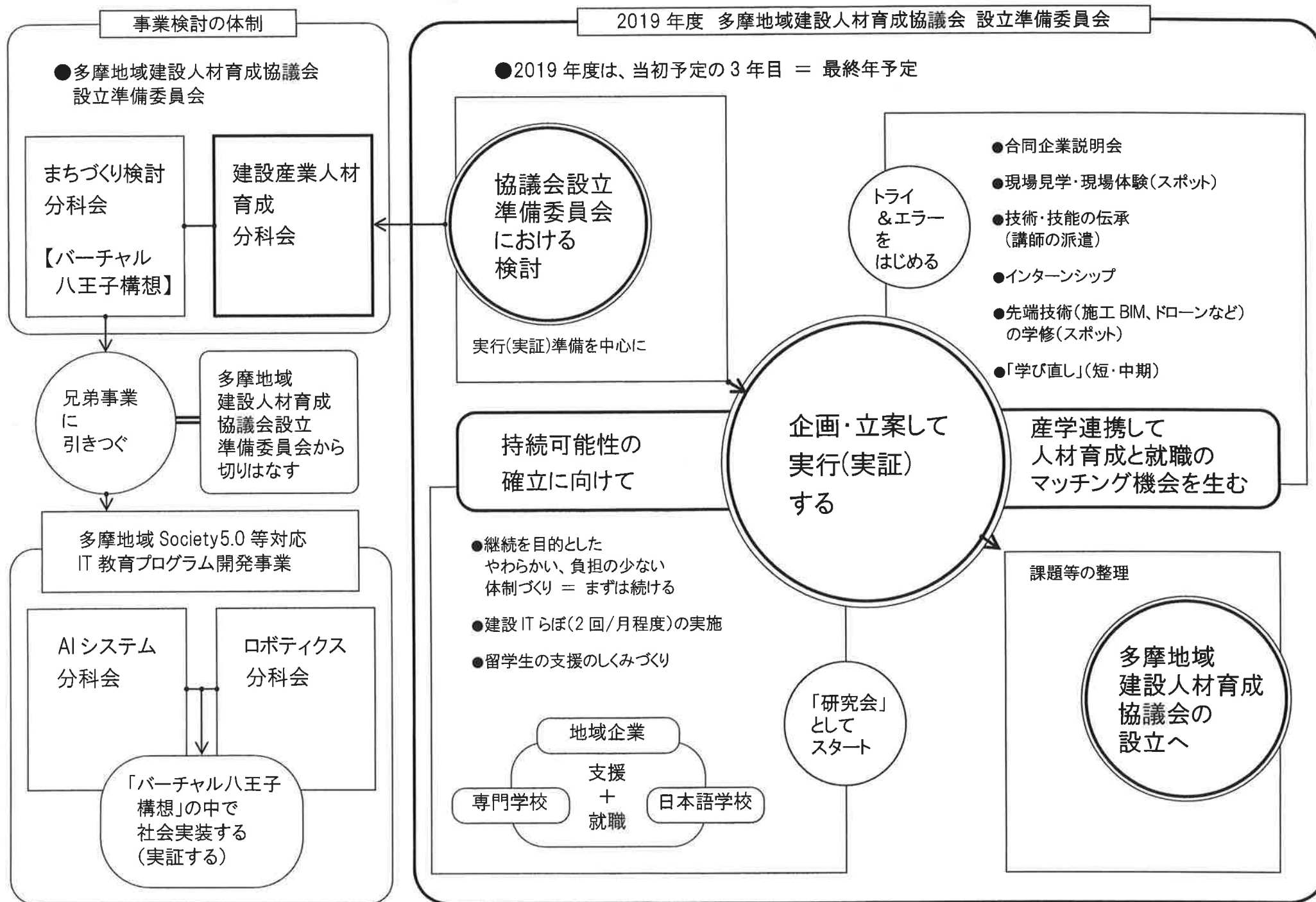
・環境整備の問題が残る
建設業は男性がいまだに多いため、女性参加者用のロッカー、トイレなどの整備が不十分。

・ミスマッチの予防
長期間のため、希望職種への体験をミスなくマッチングするためのしくみが必要。

●参加することの意義

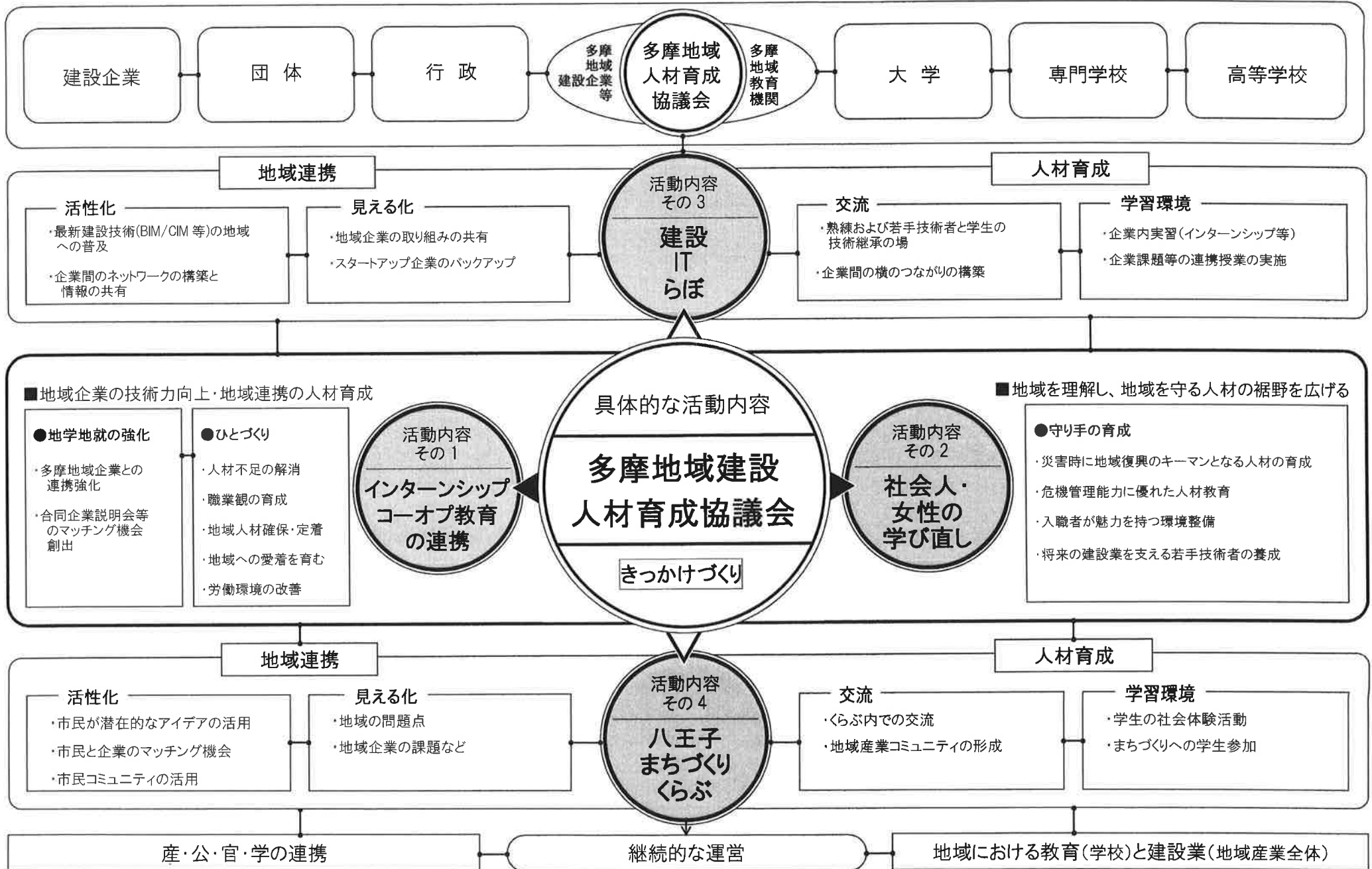
・建設業者が入札等に参加する際に、加点対象となる等のインセンティブがあれば積極的に参加するだろう。
＝八王子市は「総合評価制度」がある

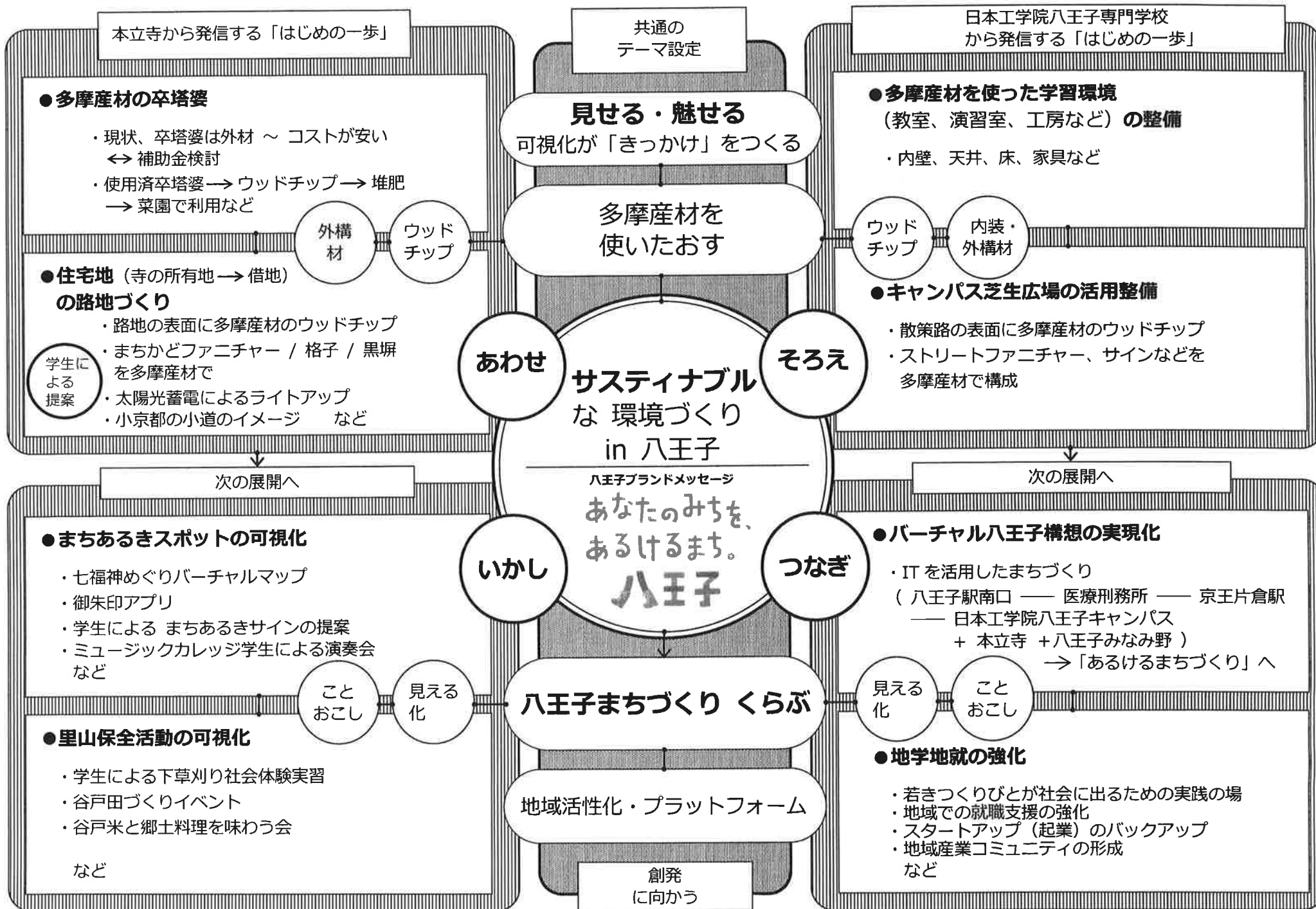
・若手社員のモチベーション向上

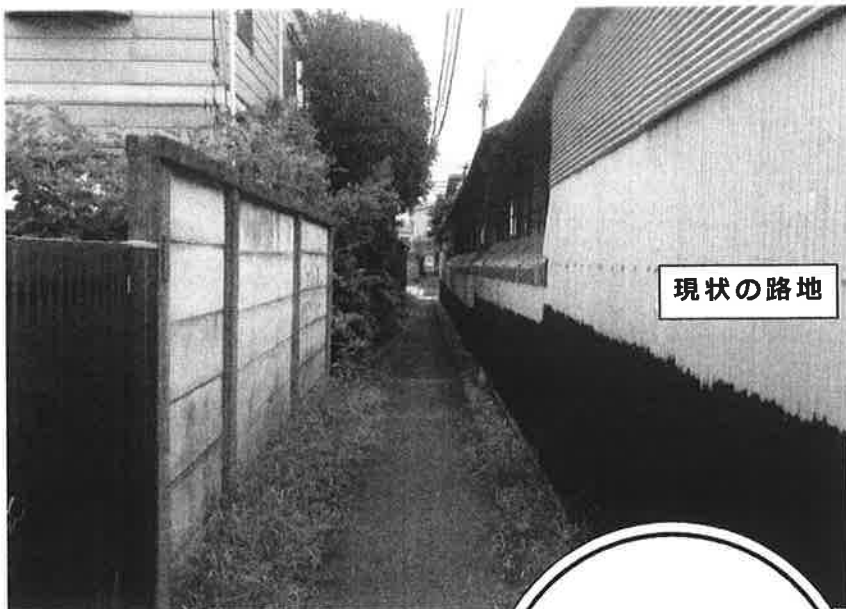






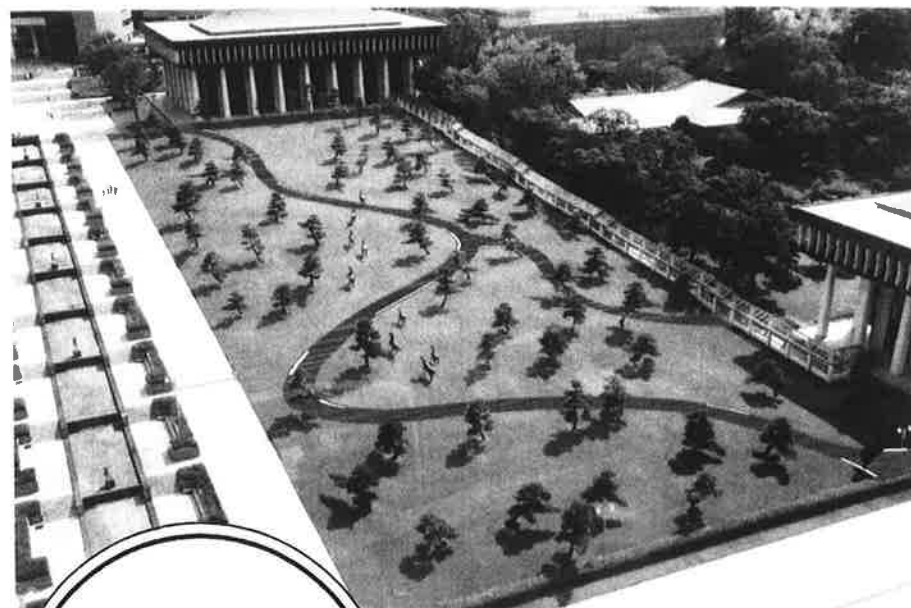




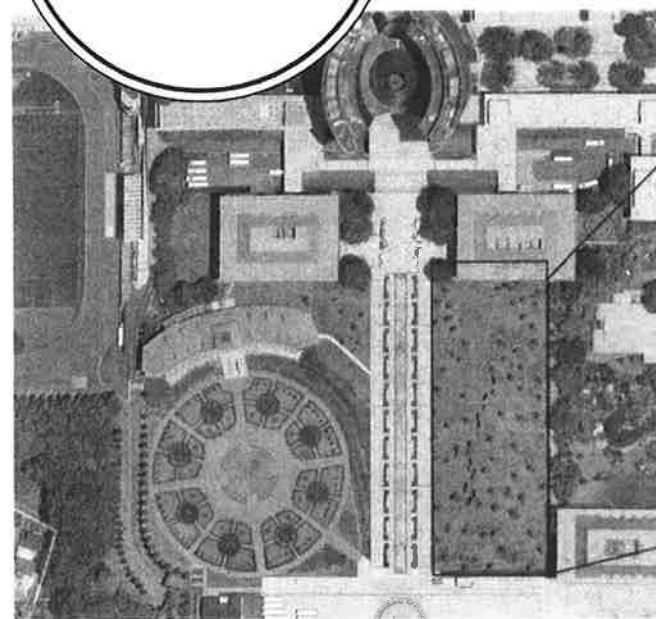
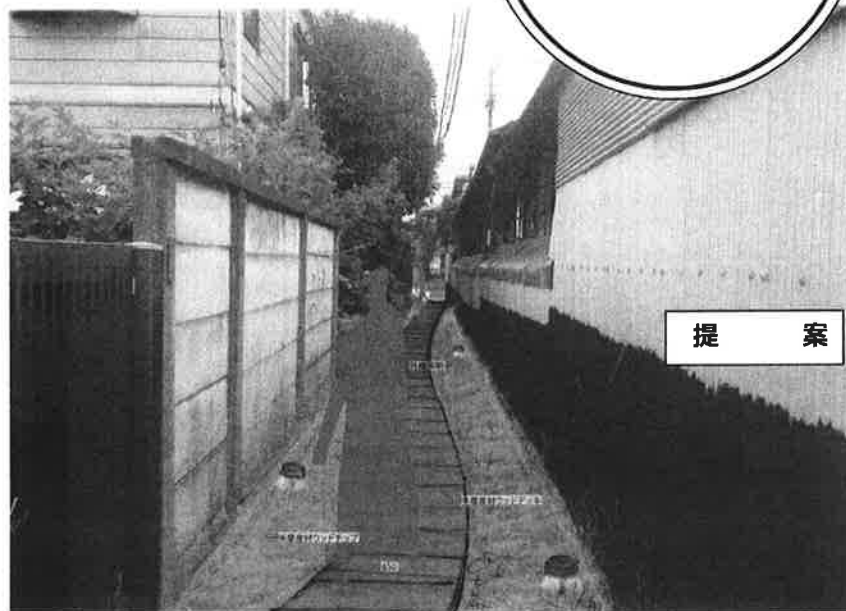


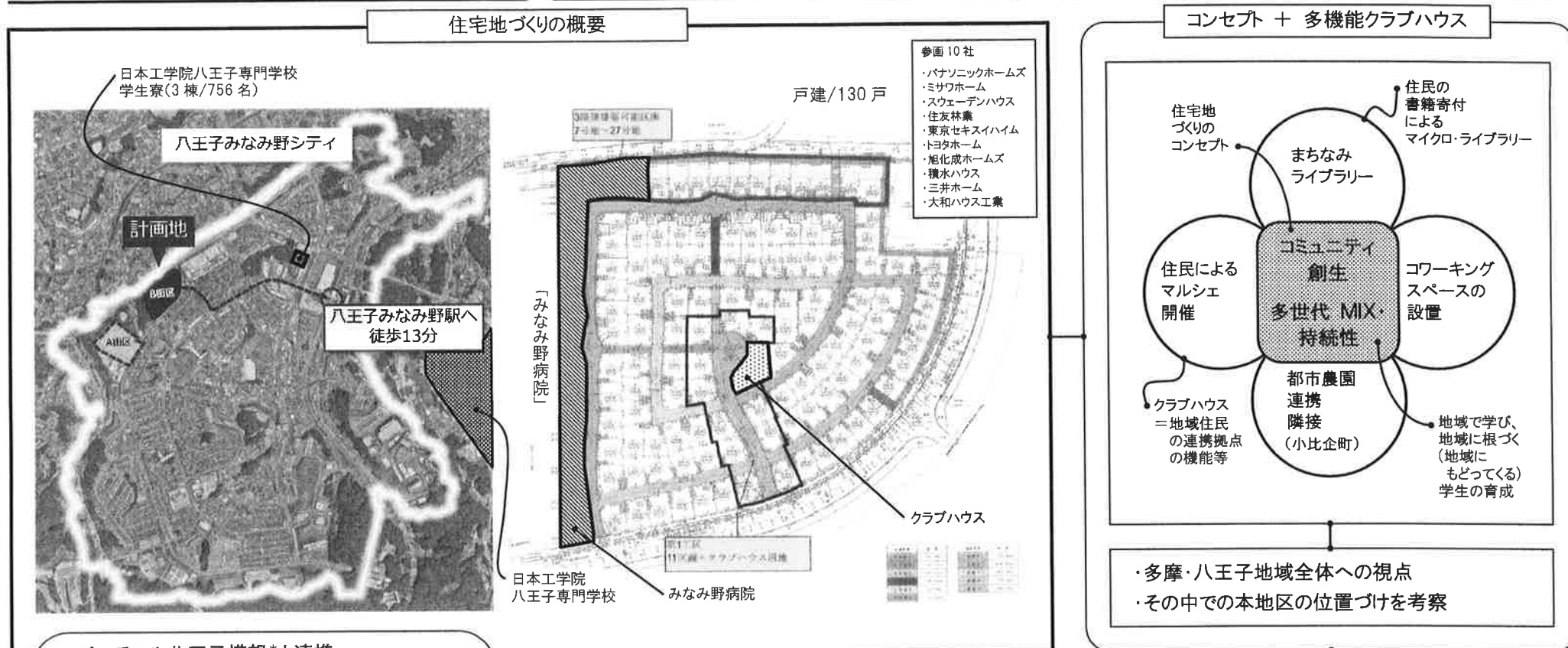
八王子市に位置する本立寺近隣の路地を対象に、路地づくりから始めるまちづくりを計画する。

本立寺から
発信する
「はじめの一步」



日本工学院八王子専門学校の芝生広場を多摩産材等を使用し、サステイナブルな園路を計画する。





●バーチャル八王子構想*と連携

*エリアデータの集積・更新ができるBIMによる都市モデルを構築し、まちづくりを行う【2018年～スタート】

日本工学院八王子専門学校からの提案

ひと おこし

- クラブハウスにおける交流づくり
に参画する
- ～ スタッフとして手伝い
- ～ 広報 —— チラシ
—— WEB ページづくり
- ～ イベントに参加 など

こと おこし

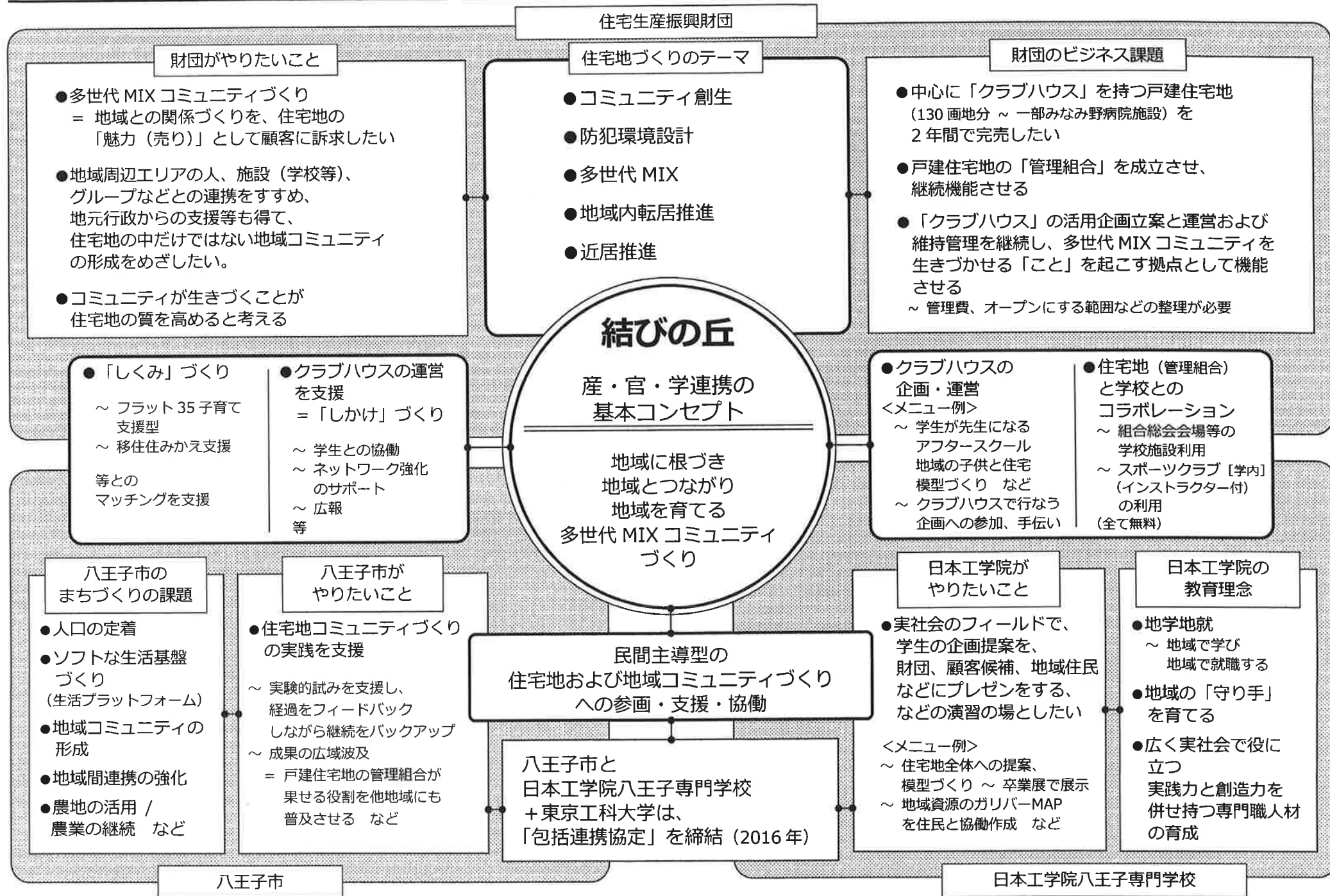
- クラブハウスでのイベントの企画・提案
- ～ 地域住民の連携のあり方を考え、イベント等を具体的に企画・提案する(学生に単位認定)
- イベントの実施スタッフとして参画する

- 参加学生: 建築学科 [4年制] 3年生
- 教員 ~ 適宜

- Step1 ワークショップ
財団関係者+居住検討(予定)者+学生により「住宅地のあり方」についてアイデアを出しあい情報共有する
- Step2 学生による提案+プレゼンテーション
- Step3 学生が「コミュニティ創生」に参画

まち おこし

- 「みなみ野シティ [財団住宅地]」にふさわしい住宅設計の提案
- 多摩・八王子地域をとらえた上で、本地区のあり方を提案
- 学生のグループ作業により上記住宅を設計提案し、プレゼンテーションする





目的

- JR 八王子駅と日本工学院八王子専門学校のキャンパスを運行しているスクールバスを自動運転化し、ICT を使用して利便性を高める。

メンバー

- 主なメンバー
 - ・八王子市
 - ・日野自動車
 - ・京王バス
 - ・日本工学院八王子専門学校
 - ・東京工科大学

本模型は八王子市広域模型として昨年度制作したもので、今年度もエリアを追加して製作中。
サイズ: W 1.2m × D 2.5m

スクールバス 自動運転化 プロジェクト

ICT 利活用の案



- センサーを搭載可能
 - ・顔認証 / 個人特定タグ読取り
 - ・乗車人数 / 混雑状況
 - ・待ち時間(バス停のセンサーと連動)
 - ・温度 / 湿度 / 気圧 / ピンポイント天候
- 発信機能を搭載可能
 - ・位置情報 / 移動時間 / 渋滞情報

参考事例

八丈島観光 MaaS の実現に向けた 移手段創出実験

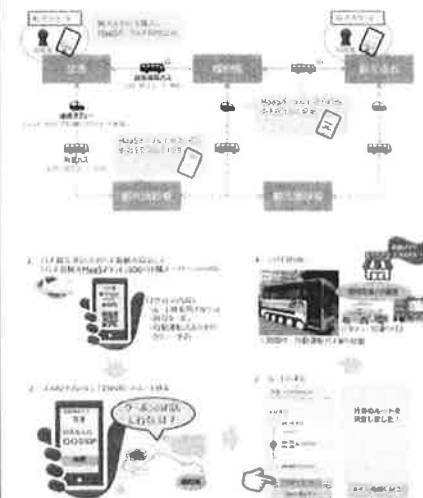
- ・観光 MaaS の実現に向けた移手段創出の実証実験を 2019 年 10 月 28 日より開始
- ・「八丈島空港」～「八丈島観光協会」を結ぶルートを実行(1日 3 往復)



本実験においては、専用車に専用ソフトウェア(乗客)を200名以内で乗客する。観光客の乗客数は、MaaSプラットフォームを通じて、移動観光客に提供する以下のサービスを提供すること。



観光チケットの販売は、八丈島観光協会(旧「八丈島観光」)及び「観光協会」の協力で、民間企業は、各々の観光センターにて観光チケットを購入(キヤッシュレス決済)。引換にMaaSプラットフォームのURLを入手する。



参加者 募集

2019年度 文部科学省 委託事業 実証講座

「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

多摩地域における建設産業中核的人材養成のための産学連携体制構築事業

学校法人 片柳学園 日本工学院八王子専門学校

マンションリフォームマネジャー 試験対策講座

参加者募集のご案内

(受講料 無料)

日本工学院八王子専門学校は平成24年度より文部科学省の委託事業として、社会基盤分野で次世代を担う中核的人材を育成するカリキュラム開発をすすめ、8年目を迎えました。これまでに開発した社会基盤のカリキュラム等を基に、建築を学ぶ学生の方、多摩地域の建設会社などに就職を希望する方、これから中堅社員になることを目指す方、建設関連の教員を対象として、建設技術に関わるステップアップ講座を文部科学省委託事業の実証講座として開講しています。

「マンションリフォームマネジャー試験」とは、平成4年度に創設され、試験合格者は、延べ10,619人(平成4年度研修修了者を含む)です。平成29年末には分譲マンションストック戸数の推計値は640万戸を超え、建築後相当の年月を経たマンションも急増し、マンション専有部分のリフォームが重要な業務領域としてクローズアップされています。マンションリフォームにおいては、区分所有やマンション管理、共同住宅ならではの建築構造、設備等、その特殊性をふまえた適切な計画や施工が不可欠です。依頼者の要望を実現し、付加価値の高いリフォームを行うために、これらをマネジメントするマンションリフォームのスペシャリストが求められています。

これから需要の高まりが期待されている資格を取得し、今後のお仕事に活かされてはいかがでしょうか。下記要領で開催しますので、ご参加を希望する方は裏面申込書にご記入のうえ、FAXにてお申込み下さい。

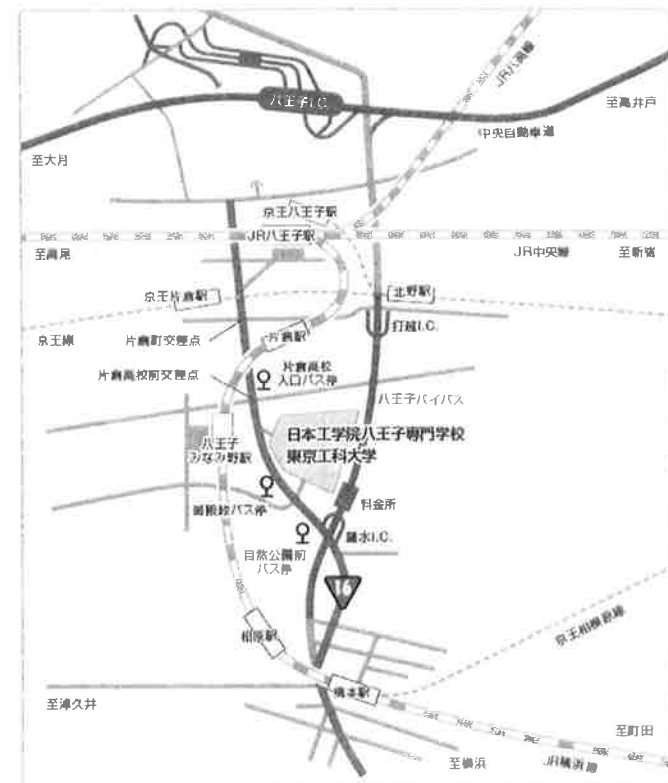
—記—

- 主催者 2019年度 文部科学省委託事業
代表機関:学校法人 片柳学園 日本工学院八王子専門学校
- 期 間 2019年9月7日(土) 10:00 ~ 17:00
2019年9月14日(土) 10:00 ~ 17:00
2019年9月21日(土) 10:00 ~ 17:00
※上記3日間すべての受講が必須となります。
- 講座内容 下記日程により開催予定 (内容を一部変更する場合があります)
各日受付開始 9:30

開催日	講座内容 (7時間を予定)
2019年9月7日(土) 10:00 ~ 17:00	・学科試験対策 マンションリフォームの基礎知識 等
2019年9月14日(土) 10:00 ~ 17:00	・学科試験対策 設備のリフォーム 等 ・製図試験対策 図面の描き方、演習問題 等
2019年9月21日(土) 10:00 ~ 17:00	・製図試験対策 演習問題 等

- 受講料 受講 無料/教材費 5,000円(税込) 交通費は自己負担となります。
 - 定 員 20名 (定員を超えた場合は抽選となります)
 - 申込方法 申込書に必要事項を記入し、MAILまたはFAXにてお申込み下さい。
 - 協力企業 一般社団法人 マンションリフォーム推進協議会
 - 集合場所 学校法人片柳学園 日本工学院八王子専門学校 講義棟B-301
- 住所 東京都八王子市片倉町1404-1
交通 JR中央線 八王子駅南口 より 本校スクールバス
JR横浜線 八王子みなみ野駅 より 本校スクールバス
八王子キャンパス案内図は本校HP参照 ⇒ <http://www.nhac.ac.jp/access/hac.html>
- 持ち物 筆記用具・ノート等(製図対策講座時の持ち物は1日目にご案内します)

日本工学院八王子専門学校 案内図



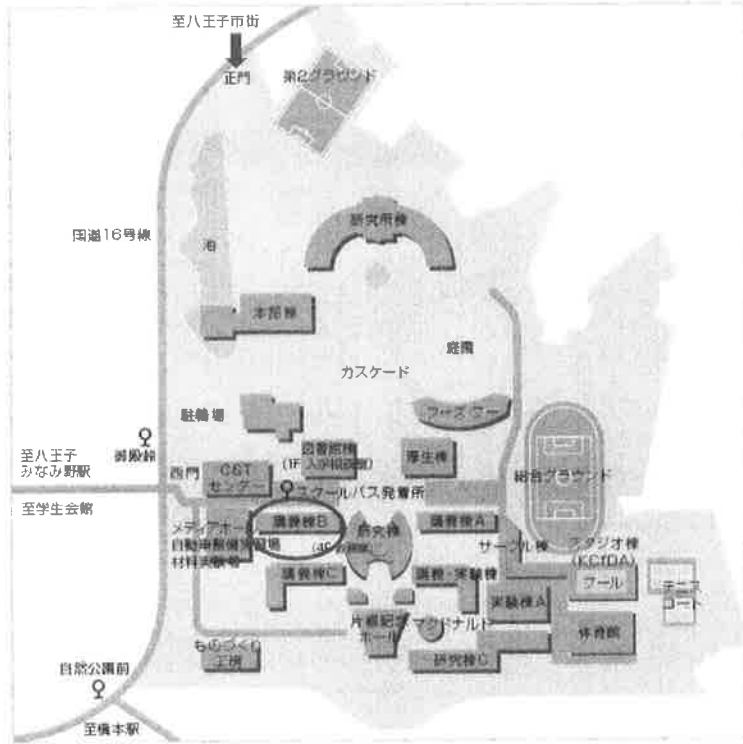
日本工学院八王子専門学校 御中

2019年度 文部科学省 委託事業 実証講座

「専修学校による地域産業中核の人材養成事業」

「マンションリフォームマネジャー 試験対策講座」

申込書(FAX)



八王子キャンパス 案内図

注) 昼食は各自でご用意いただき、正門よりご入場下さい。

9. 問合せ先 学校法人 片柳学園 日本工学院八王子専門学校
 テクノロジーカレッジ 小林(事務局)
 TEL 042-637-3118 (事務局)

以上

ふりがな 氏名		年齢
社会人の方は会社名 学生の方は学校名		
最終学歴(学校名・学科名)		
部署・役職 または学科・学年		
お持ちの資格		
電話番号 携帯番号		
メールアドレス (PCからのメール受信可能アドレス)		

参加申込み締切 2019年8月30日(金)

* FAX送信先:042-637-3118 (24時間受付)

* MAIL 送付先:kobayashit@stf.neec.ac.jp

表紙、送信状等不要。

● 回答して下さる方の基本情報

日本工学院八王子専門学校 建築学科 3年3名、4年9名

男性10名 女性2名

* 留意事項: アンケートは講座開始直前と講座終了直後に実施します。

● 実施前アンケート

		そう思う	やや そう思う	どちらとも 思わない	やや 思わない	そうは 思わない	小計
		+3	+1	0	-1	-3	
1	マンションリフォーム市場について理解している。	0	1	0	-3	-21	-23
2	「マンション」のことばの定義を理解している。	0	0	0	-6	-9	-15
3	区分所有法を理解している。	0	0	0	-3	-24	-27
4	専有部分と共有部分を理解している。	3	4	0	-2	-6	-1
5	床衝撃音における軽量床衝撃音と重量衝撃音の違いを理解している。	0	0	0	-1	-30	-31
6	SI住宅とは何かを理解している。	0	1	0	-2	-15	-16
7	マンションの床の作り方を理解している。	0	0	0	-2	-27	-29
8	マンションの外壁・界壁を理解している。	0	0	0	-4	-21	-25
9	給排水設備の排水勾配を理解している。	0	2	0	-3	-18	-19
10	給排水設備のトラップを理解している。	3	1	0	-2	-18	-20
合計							-206

● 実施前アンケート

		そう思う	やや そう思う	どちらとも 思わない	やや 思わない	そうは 思わない	小計
		+3	+1	0	-1	-3	
1	マンションリフォーム市場について理解している。	6	8	0	0	0	14
2	「マンション」のことばの定義を理解している。	21	5	0	0	0	26
3	区分所有法を理解している。	18	5	0	0	0	23
4	専有部分と共有部分を理解している。	18	6	0	0	0	24
5	床衝撃音における軽量床衝撃音と重量衝撃音の違いを理解している。	27	3	0	0	0	30
6	SI住宅とは何かを理解している。	24	3	0	0	0	27
7	マンションの床の作り方を理解している。	21	5	0	0	0	26
8	マンションの外壁・界壁を理解している。	21	3	0	0	0	24
9	給排水設備の排水勾配を理解している。	18	6	0	0	0	24
10	給排水設備のトラップを理解している。	21	5	0	0	0	26
合計							244

自由回答欄 受講後の感想を自由にお書きください

- ・授業では教わらなかった詳しい部分を知れた。
- ・わかりやすかったです。
- ・どういった資格でどういった傾向の試験か理解できた。

● 回答して下さる方の基本情報1

日本工学院八王子専門学校 建築学科 3年3名、4年9名

男性 10名 女性 2名

* 留意事項: アンケートは講座開始直前と講座終了直後に実施します。

● 実施前アンケート

		そう思う	やや そう思う	どちらとも 思わない	やや 思わない	そうは 思わない	小計
		+3	+1	0	-1	-3	
1	共有設備と専有設備を理解している。	3	0	0	-3	-9	-9
2	給水管の種類を理解している。	3	1	0	-2	-15	-13
3	マンションの給水方式を理解している。	3	3	0	-2	-12	-8
4	キッチンのワークトライアングルを理解している。	0	0	0	-2	-27	-29
5	製図試験の合格のポイントを理解している。	0	0	0	-2	-27	-29
6	製図試験での時間配分を理解している。	0	0	0	-3	-30	-33
7	製図試験での設備の留意点を理解している。	0	0	0	-2	-27	-29
8	製図試験での平面図の描き方を理解している。	0	1	0	-4	-15	-18
9	製図試験での省エネ対応を理解している。	0	0	0	-1	-33	-34
10	製図試験でのユニットバスサイズ 1216、1616 等を理解している。	0	0	0	-3	-27	-30
合計							-232

● 実施前アンケート

		そう思う	やや そう思う	どちらとも 思わない	やや 思わない	そうは 思わない	小計
		+3	+1	0	-1	-3	
1	共有設備と専有設備を理解している。	9	9	0	0	0	18
2	給水管の種類を理解している。	9	8	0	0	0	17
3	マンションの給水方式を理解している。	9	7	0	0	0	16
4	キッチンのワークトライアングルを理解している。	12	5	0	0	0	17
5	製図試験の合格のポイントを理解している。	12	8	0	0	0	20
6	製図試験での時間配分を理解している。	9	5	0	0	0	14
7	製図試験での設備の留意点を理解している。	12	7	0	0	0	19
8	製図試験での平面図の描き方を理解している。	9	7	0	0	0	16
9	製図試験での省エネ対応を理解している。	6	5	0	-1	0	10
10	製図試験でのユニットバスサイズ 1216、1616 等を理解している。	12	8	0	0	0	20
合計							167

自由回答欄 受講後の感想を自由にお書きください

・学科試験の内容は比較的よく理解できた

・マンションの設計は決まりごとが多く、しっかりと知識を付けないと設計・工事が出来ないことが分かった

・製図試験の重要ポイントを把握できたので、ゾーニングを早く終わらせること、書き上げることが最優先。

● 回答して下さる方の基本情報1

日本工学院八王子専門学校 建築学科 3年3名、4年9名

男性 10名 女性 2名

* 留意事項・アンケートは講座開始直前と講座終了直後に実施します。

● 実施前アンケート		そう思う	やや そう思う	どちらとも 思わない	やや 思わない	そうは 思わない	小計
		+3	+1	0	-1	-3	
1	依頼者の要望でもできないことがあることを理解している。	18	3	0	0	-3	18
2	2階以上のバルコニーの手摺高さを理解している。	6	4	0	-1	-6	3
3	ユニットバスの規格サイズを理解している。	3	3	0	-1	-6	-1
4	ベッドのサイズを理解している。	6	3	0	-2	-6	1
5	住宅用火災報知器の設置位置・種類・マークを理解している	0	1	0	-3	-15	-17
6	テンプレートの使用に慣れている。	0	1	0	-2	-12	-13
7	製図試験対策でゾーニングがスムーズに行える。	0	2	0	-3	-21	-13
8	製図試験対策で清書を時間内に描くことができる。	0	0	0	-3	-21	-24
9	作図での書込みを理解している。	0	1	0	-4	-9	-12
10	留意事項説明の記述方法を理解している。	0	0	0	-4	-15	-19
合計							-77

● 実施前アンケート		そう思う	やや そう思う	どちらとも 思わない	やや 思わない	そうは 思わない	小計
		+3	+1	0	-1	-3	
1	依頼者の要望でもできないことがあることを理解している。	21	3	0	0	0	24
2	2階以上のバルコニーの手摺高さを理解している。	12	4	0	0	0	16
3	ユニットバスの規格サイズを理解している。	15	4	0	0	0	19
4	ベッドのサイズを理解している。	18	3	0	0	0	21
5	住宅用火災報知器の設置位置・種類・マークを理解している	9	4	0	-1	0	12
6	テンプレートの使用に慣れている。	9	3	0	-1	0	11
7	製図試験対策でゾーニングがスムーズに行える。	6	6	0	-1	0	11
8	製図試験対策で清書を時間内に描くことができる。	3	5	0	-1	-3	4
9	作図での書込みを理解している。	6	5	0	-2	0	9
10	留意事項説明の記述方法を理解している。	3	5	0	-1	0	7
合計							134

自由回答欄 受講後の感想を自由にお書きください

- ・自分の計画の技量が上がった気がする。
- ・最初と比べて理解して書くことができた。
- ・とても集中してできた。
- ・ありがとうございました。

視察先： 広島工業大学
環境学部 建築デザイン学科 准教授 杉田 宗 氏

人 物： 専門分野: コンピュータショナルデザイン、デジタルファブリケーション
活 動: HIROSHIMA DESIGN LAB Founder

日 程：2019年8月30日(金) @広島

建築教育について

- デジタル教育を教える環境
3Dプリンターの台数 2台
レーザカッターの台数 2台
ショップボットの台数 1台
- デジタル教育への学生の興味
環境デザイン学部では一番人気の研究室
大学院1年 2名
2年 2名
学部3年生 10名
- ひとつの授業で様々な技術を習得する
教員がコラボすることが重要
未来の建築教育を共に語りあう機会
- 他の教科との連携
ニューブリック (デジタル×材料)
- 通信教育への取り組み
現在はなし
- 一級建築士の受験要件の変更への取り組み
現在はなし
- サウスウェールズ大学
コンピュータショナルデザイン学科

地域との連携について

- ヒロシマデザインラボについて
運営は杉田研究室で行っている
会場費等は学校所有の施設を利用している
参加する企業は増えている
- リカレント教育について
若手社員が参加することが多い
(企業で新たな取り組みを行える人材が参加している)
十分なリカレント教育となっている
- リカレント教育とBIMの親和性
学生が社会人と一緒に学ぶ理想的な環境が作りやすい
- どのように企業を集めたか
学生が就職している企業や
行政からの紹介、地域建設業のつながりで告知等している
- 他の地域で活発な地域はあるか
名古屋周辺は取り組んでいる
- 各回の参加人数は？
約30名程度
学生は10名以下、その他社会人

育てる人材像について

- どのような人材が卒業しているか
海外展開している大手建設系企業へ就職
- 授業以外でどのような教育が行われているか
上級生が授業に入り、下級生へ教えることで学びが早い、TAがキーとなる
ショップボットなどの機械は教員または認められた学生が居なければ使用不可としている
- グラスホッパーなどの効率的な学習方法は？
実施設計の業務を行っていることで、責任感が出て理解度が高くなっている
- BIM人材を育てる理由
広島をBIMのまちとして有名にしたい
そのためには社会人となる新卒社員が新しい技術を会社へ持ち込む
学生がBIMを普及させる種になる
- 今後、留学生などの大学院生を増やしたい
- 理想的な学習環境は？
24H使用可能な実習室と運用可能な体制
- 多くの実施プロジェクトが学生のモチベーションを上げる



2019年度 文部科学省委託事業 「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
 多摩地域における建設産業中核的人材養成のための産学連携体制構築事業

委員会日程

	1回目	2回目	3回目	4回目	報告会
多摩地域の建設産業人材育成協議会設立	9月9日(月) 15:00~17:00 場所:日本工学院八王子専門学校 厚生棟2F スチューデントスクエア	11月5日(火) 15:00~17:00 場所:日本工学院八王子専門学校 片柳研究所棟 14階 AI実践センター	12月12日(木) (予定) 15:00~17:00 場所:日本工学院八王子専門学校 片柳研究所棟 14階 AI実践センター	1月中旬 場所:未定	2月中旬 場所:未定